

アーティクル株式会社 / Artiql Inc.

会社案内

「共感」と「共創」により、持続可能な未来への移行を
ファシリテートする未来デザインカンパニー

2026年7月

artiql

- 01 About Us | 私たちについて（ミッション・事業領域・アプローチ・特徴）
- 02 Practices | 3つの事業領域
 - Media | メディア・プロダクト
 - Place | 拠点・空間
 - Futures Design Lab | 共創プロセス、共創領域（ソリューション）
- 03 Company | 会社情報

About Us / 私たちについて

Media × Design × Co-Creation

artiql

気候危機、社会の分断、複雑化する課題。

答えが用意されていない時代に、ひとつの組織・ひとつの専門性だけで描ける未来は、もうありません。

Artiql（アーティクル）という名前は、art（創造する）、question（問う）、article（伝える）に由来しています。

創造性をもって問いを立て、その問いを社会へ届けていく。

知ることと、つくることをつなぎながら、よりよい未来をともに編みなおしていく。

そんな想いを、この社名に込めています。

ArtiqIを構成する3つの事業領域

共創を促進するプロセス、共創の物理空間、そして両者をつなぐメディア。

これらを掛け合わせ、未来の兆しを捉え、対話から社会実装までをともにデザインします。

未来デザイン事業 /Futures Design Lab

変革を生み出す共創プロセス

企業・自治体・NPO等と共に、課題発見から構想、実装、発信まで共創型でプロジェクトを設計・実行します。

メディア事業

兆しを集めるメディアと
コミュニティ

「IDEAS FOR GOOD」などのメディアとコミュニティを通じ、世界中の未来の兆しを捉え、社会のあり方を問う場を作ります。

プレイス事業

暮らしと社会をつなぐ拠点

共創拠点の運営と社会実証の伴走。人々が集い、循環型の暮らしを試し、根づかせる場をつくりま

変化の兆しを捉え、未来を編み直す

01

兆しを捉える

- 業界動向・社会変化のリサーチによる未来の兆しの抽出
- ツアーなどの体験を通じた、兆しを捉える機会の提供

04

仲間を広げ、関係性を紡ぐ

- 共創型のメディア・イベント・インパクトレポートの企画・制作
- サステナブル・ブランディング
- コミュニティ運営

02

ありたい未来を構想する

- 未来ビジョン・戦略策定
- インパクトロジック策定
- 市民参加型・セクター横断型の共創・対話の場の設計・運営

03

描いたものを実装する

- 共創空間・リビングラボの伴走
- 組織変革・組織開発
- 事業開発
- まちづくり・循環型都市移行



サステナビリティ・メディアの専門性×共創プロセスデザイン



変革の起点を見つける力

メディアや共創を通じた世界中の実践知と独自の未来洞察メソッドを掛け合わせ、組織や地域に固有の変革の起点を見出します。



独自の視点で編む編集力

メディアで培った編集視点と共創プロセスで、組織や場固有の物語を共に紡ぎ、社会に届けます。



対話から実装までの共創プロセス設計

複雑な課題に向けて、独自のメソッドで対話の場づくりから組織変革、社会実装までを一貫して共創します。



サステナビリティ・CEの専門性

理論と実装で蓄積した知見と独自のサーキュラーデザインツールで、事業や都市の循環への移行を共に歩みます。

Media / メディア・プロダクト

Place / 拠点・空間

Futures Design Lab / 共創プロセス

サステナビリティ・サーキュラーエコノミーメディア

社会の変化を捉え、問いを社会に届ける場として、6つの自社メディアを運営しています。

IDEAS FOR GOOD

社会をもっとよくする世界のアイデアマガジン

<https://ideasforgood.jp/>

Circular Yokohama

横浜のサーキュラーエコノミー推進プラットフォーム

<https://circular.yokohama/>

Life Hugger

サステナブルな暮らしを応援するライフスタイルメディア

<https://lifelugger.jp/>

Circular Economy Hub

サーキュラーエコノミー専門オンラインメディア

<https://cehub.jp/>

Zenbird

日本のソーシャルグッドを世界に発信するメディア

<https://zenbird.media/>

Livhub

サステナブルな非日常を提案する旅行・観光・体験メディア

<https://livhub.jp/>

+ IDEAS FOR GOOD



社会をもっとよくする 世界のアイデアマガジン「IDEAS FOR GOOD」

世界を大きく変える可能性を秘めた最先端のテクノロジーから、社会問題を知らせる広告やアート、人々の行動を変えるちょっとしたデザインまで、世界中に散らばるソーシャルグッドなアイデアを発信。2025年には、新たなメディアのあり方に挑戦するべく クラウドファンディングを実施。Webメディアやニュースレター、Podcastのほか、イベント・ツアー、ワークショップなどを通じ、読者と“ともに編む”メディアを目指します。

開設	2016年10月 ※2026年6月、サイトリニューアル
読者層	企業・自治体のサステナビリティ実装担当者、ミレニアル・Z世代等
媒体規模	年間328.6万PV・198.8万UU（2025年）、Newsletter 4,100名、Peatix 4,900名
受賞	第1回ジャーナリズムXアワード
URL	https://ideasforgood.jp/

※2026年7月時点の情報です。

ニュースレター

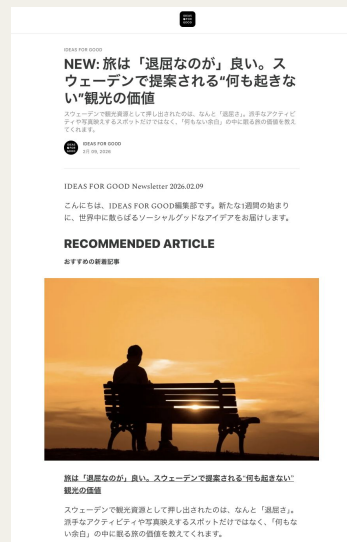
IDEAS FOR GOODでは週に2回（毎週月曜日と木曜日の朝8:00）、ニュースレターを無料で配信中。ニュースレター限定の情報もお届け。（以下例）

- 週の人気記事一覧
- 最新のセミナー・イベント情報
- 編集部による限定コラム

ポッドキャスト「Podcast for Good」

記事の中では語りきれない、編集部の注目トピックや取材の裏話などをお届けします。Spotifyなどで配信中。（以下、トピック例）

- サステナビリティ・サミットに見る「成長」という物語の終わり
- 所有のありかたを書き換える「パブリック・ラグジュアリー」
- 恋愛リアリティから読み解く、効率化社会における愛のゆくえ



ニュースレター（Substack）



ポッドキャスト（Spotify）

編集部注目のトピックや特集テーマに関するトークイベント、対話セッション、体験型のプログラムなどを開催。

記事の続きを、みんなで話そう。

IDEAS After Talk

みんなで作る「編集後記」のような対話の場

THEME
Vol.1 働くこと

どんな働き方をしたい？ どんな仕組みがあったら嬉しい？
「働くこと」について等身大の言葉で語り合おう。

2026.7.9 THU
19:30-21:00

Warm Heart Cool Head TOKYOBASE
東京都元赤坂1丁目7-18 元赤坂イースト

定員 10名
(事前申込制)



IDEAS FOR GOOD

成長なき豊かさに「憧れる」ことはできるのか？

- 欧州サステナビリティ最前線パリ・ChangeNOW報告会 -

2026. 5.21 (Thu)
(Zoom開催) (17:50 open)
18:00-19:00 参加費：1000円

ファシリテーター
伊藤 恵 高山 恵梨香 木原 優佳

全6回 体験シリーズ

あなたの「おいしい」が続く値段って？

作り手との対話から、
食の“価値”を問い直す旅

Vol.4 event

食べ方は「生き方」。
生産の現場から編み直す、
食と生命との関係性

IDEAS FOR GOOD



GLASS ROCK Social Action Community × ClimateCreative

ClimateCreative Workshop

Planetary Questions：AIは気候危機をどう変える？

創造的対話をもたらす「問い」のデザインワークショップ

2025. 8.27 (Wed) (18:15開場)
18:30 - 21:00

会場 Glass Rock Members Lounge
東京都港区虎ノ門1丁目22-1 虎ノ門ビルズ グラスロック B1階

ハートワークス代表 / CEO 加藤 祐
株式会社メンバーズ 原 裕

最新情報は[Peatix](#)や[IDEAS FOR GOODイベントページ](#)をご覧ください。

ツアープログラム「Experience for Good」 ～記事を10本読むよりも、1回体験した方が、人は変わる～

【Beyond Circularity 2023】イギリス・フランス・オランダを巡る、欧州サーキュラーエコノミー視察ツアー



台湾のサーキュラー・ソーシャルデザインに会いに行く旅「Repair Our Futures ～つなぎ直す未来～」



伊勢志摩・英虞湾の里海から、人と自然の共生とよりよい巡りを考える「サーキュラー・ツーリズム」



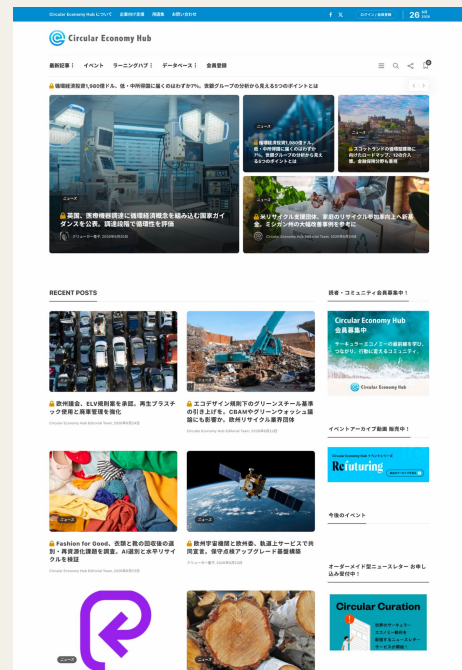
オリジナルドキュメンタリー「The Repair Cafe（リペアカフェ）」



オランダ・アムステルダムで、故障した家電製品や家具などの修理を地域のボランティアが手伝ってくれる「リペアカフェ」に密着した短編ドキュメンタリー作品。40か所以上で上映会やリペアワークショップを開催。

受賞：アムステルダム地域映画祭 ABFF2025 ノミネート

URL：<https://ideasforgood.jp/documentary-repair-cafe/>



サーキュラーエコノミー専門メディア「Circular Economy Hub」

国内外のCE関連の法規制、政策、企業の取り組みを伝えるニュースと、世界各国のエディターによるインサイト・オピニオン記事を発信。エレン・マッカーサー財団の許可のもとオンラインCE学習プログラムを提供し、Metabolic（蘭）、Circle Economy（蘭）、Forbes Japan 等とのコンテンツ連携も行う。2026年2月からオンラインイベントシリーズ「Refuturing」を毎月開催。

開設	2020年3月
読者層	企業・自治体のCE担当者、起業家、研究者、学生等
媒体規模	年間49万PV・19.1万UU（2025年）、有料会員250名、Slackコミュニティ100名超
パートナー	Metabolic、Getting in the Loop、Forbes Japan、Fashion for Good 等
URL	https://cehub.jp/

※2026年7月時点の情報です。

オンライン・月例イベントシリーズ



Refuturing (リフューチャリング)

月1回のイベントシリーズ。持続可能な循環型の未来への移行を牽引するソーリーダーや実践者をゲストに迎え、多様な視点から直線的な成長の物語を問い直し、人間と自然、現在と未来との関係性を編み直すサーキュラーデザインのあり方を探索。

自治体向けCE移行支援ツール



循環都市移行指標／ガイド

自治体でCE（循環経済）の推進に関わる方に向けて移行プロセス、参考事例などをまとめたガイドや、移行状況を可視化した指標（ベータ版）を提供。

移行指標：<https://ccti.cehub.jp/index.html>

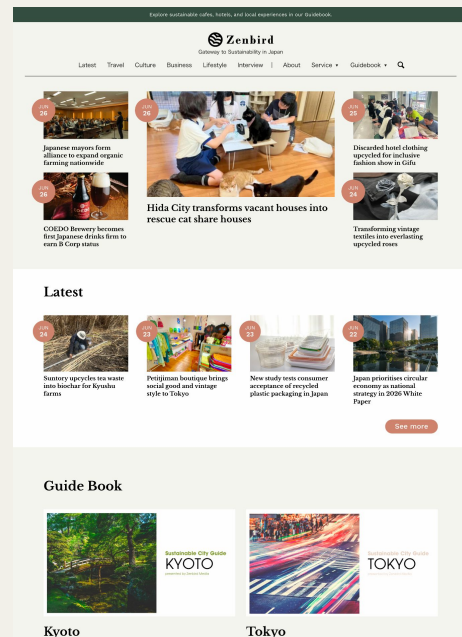
移行ガイド：<https://city.cehub.jp/guide/>

循環型デザインプログラム



Circular Design Sprint

「デザイン・スプリント」の手法を用いて、3日間の短期集中でサーキュラーエコノミーの概念を取り入れたプロダクト・サービス開発のプロトタイプ作成・検証までを実施するワークショッププログラム。



日本のソーシャルグッドを世界に発信するメディア「Zenbird」

日本中のソーシャルグッドなアイデアや取り組みを英語で配信しているウェブマガジン。社会課題の解決に挑むスタートアップやNPOの事業、地方創生のユニークな取り組み、日本文化に根付いたサステナブルなライフスタイルの知恵などを海外に発信している。読者向けイベントも定期的開催。YouTube配信、ポッドキャスト配信、企業向けサービス「Zenbird Brand Studio」などを展開。

開設	2019年4月
読者層	海外からのアクセスが8割（アメリカ、インド、イギリス、オーストラリア、フィリピン、カナダ、シンガポール、マレーシア、インドネシア他）
媒体規模	年間21.2万PV・13.7万UU（2025年）
プロダクト	Sustainable City Guide (Tokyo/Kyoto)
URL	https://zenbird.media 体験キュレーションサイト: https://zenbird.life/

※2026年7月時点の情報です。



サステナブルな暮らしを応援するライフスタイルメディア「Life Hugger」

日常を大切に、人にも地球にも優しいサステナブルなライフスタイルを応援するウェブメディア。生活に欠かせない衣・食・住のさまざまな角度から、ゼロウェイストなライフスタイルを中心としたサステナブルな暮らしの実践に役立つ情報やアイデアを紹介。

『ゼロ・ウェイスト・ホーム』『プラスチック・フリー生活』の翻訳でも有名な服部雄一郎さん・麻子さんご夫妻のオリジナル連載を掲載。

開設	2017年7月（2021年秋ブランドチェンジ）
読者層	20～40代 女性
媒体規模	年間54.4万PV・39万UU（2025年） インスタグラムフォロワー数：4,600名
連携団体	京都府観光協会メディアパートナー、TOKYOエシカル パートナー
URL	https://lifehugger.jp/

※2026年7月時点の情報です。



サステナブルな非日常を提案する旅行・観光・体験メディア「Livhub」

自分と社会の未来をよりよい方向へと変えていく、サステナブルな非日常体験を集めたウェブマガジン。旅行、民泊、ワーケーション、マルチハビテーション、地方創生、アートにいたるまで、新しい生き方のきっかけとなるユニークな体験を紹介。

ツアー共催・タイアップなどの連携実績

愛知県（あいちの離島）、大洗観光おもてなし推進協議会、岐阜県郡上市、東京観光財団、日本真珠輸出組合、パソナ JOB HUB、福島県（奥会津ワーケーション）、南三陸町観光協会 ほか

開設	2015年（2021年ブランドチェンジ）
読者層	20～40代
媒体規模	年間25万PV／18.7万UU（2025年）
URL	https://livhub.jp/

※2026年7月時点の情報です。



横浜のサーキュラーエコノミープラットフォーム「Circular Yokohama」

サーキュラーエコノミーを通じて横浜の地域課題解決、経済活性化、市民のウェルビーイング実現を目指すプラットフォーム。市内のCEプロジェクトの紹介、データベース、活動マップ、イベント・学習プログラムなどを提供しています。横浜市・横浜リビングラボサポートオフィス・横浜コミュニティデザイン・ラボとの4者で「リビングラボを通じた循環型経済を推進するための協定」を締結。



開設	2019年
受賞／採択	第2回 かながわ脱炭素大賞（普及・促進部門）、YOXOアクセラレータープログラム」第一期
URL	https://circular.yokohama/

Media / メディア・プロダクト

Place / 拠点・空間

Futures Design Lab / 共創プロセス



Sta.R（ステーション・アール）

相鉄本線 星川駅に生まれる循環文化創造拠点

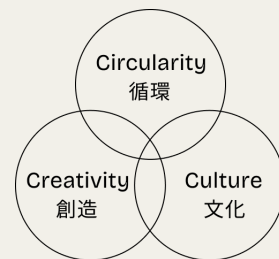
Sta.R（ステーション・アール）は、相鉄本線「星川」駅に誕生する循環文化創造拠点。未活用空間だった駅の片隅が、アートやデザイン、アップサイクルを楽しめる場所へと生まれ変わります。（2026年8月開業予定）

特徴：

1. 地域の素材に出会える「マテリアルライブラリー」
2. 循環をテーマとする作品を鑑賞したり発表できる「アートギャラリー」
3. 地域の循環グッズに出会える「Re:Store（リ：ストア）」

アクセス：相鉄本線「星川駅」直結（改札口から徒歩約1分）

URL: <https://stationr.yokohama/>



Media / メディア・プロダクト

Place / 拠点・空間

Futures Design Lab / 共創プロセス

ひとりでは動かせない構想を、共創でかたちにする

複雑な課題は、ひとつの組織だけでは解けません。多様なステークホルダーを集め、対話の場を設計し、認識を大転換させ、実装まで一貫して伴走する——Futures Design Lab は、企業・自治体・地域とともに、ありたい未来をかたちにしていきます。



主な共創領域

- サステナビリティ・CE推進
- 新規事業・未来構想
- 組織変革・組織開発
- ブランディング・コミュニケーション設計
- まちづくり・地域共創
- 共創リーダー・イノベーター育成

主なメソッド・ツール

フューチャーセッション（対話の場）／未来シナリオ／フューチャーデータベース／リサーチ・分析／サーキュラーデザインフレームワーク／視察・フィールドワーク／空間展示・体験デザイン／サステナブル・ブランディング／メディア企画・運営／研修プログラム等

Futures Design Labの共創領域



企業・地域のサステナビリティ・CE推進

メディアで蓄積してきた世界中の実践知と、独自のサーキュラーデザインフレームワークを掛け合わせ、事業や地域のサーキュラーエコノミーへの移行を共創。



新規事業・未来構想

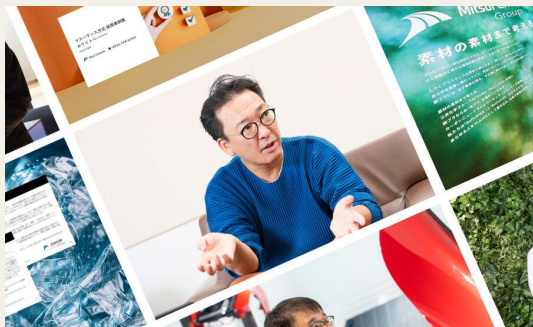
800を超える未来の兆しと、世界中で生まれているソーシャルグッドな実践事例を掛け合わせ、まだ世にない事業や社会のかたちを、対話と共創で描きます。



組織変革・組織開発

人と組織の行動変容を促す独自の対話技術で、組織が自走的に変わり続けるための文化と仕組みを、経営層と現場のあいだに共に作り上げます。

Futures Design Labの共創領域



ブランディング・コミュニケーション設計

メディア運営で培ってきた編集視点と独自の共創プロセスで、その組織にしか語れない物語を共に紡ぎ、社内外に届く発信へと育てていきます。



まちづくり・地域共創

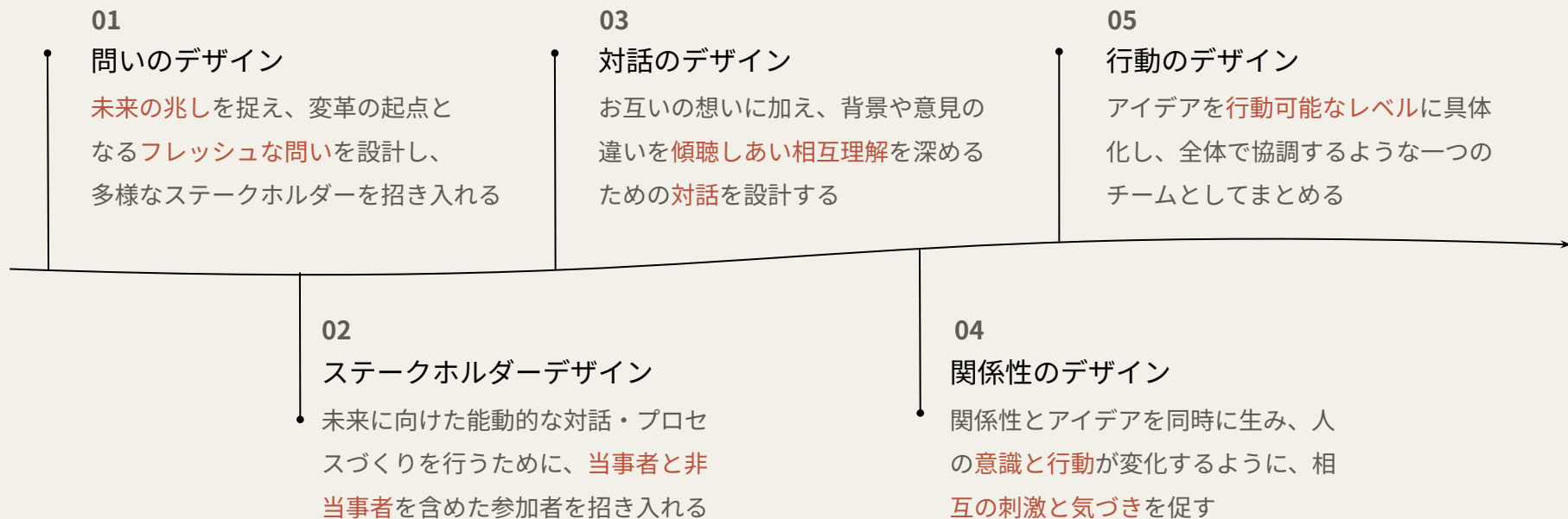
市民・企業・自治体が出会い、新しい関係を結ぶ対話の場と、地域に根ざした実証拠点を通じて、循環するまちと暮らしを共に育てていきます。



共創リーダー・イノベーター育成

共創プロセスを自ら設計・ファシリテートし、サステナビリティを根幹に持って動ける人材を、組織と地域、社会のあいだに増やしていきます。

共創プロセスデザインのステップ



※ステップは基盤となるフレームワークです。プロジェクトの目的や規模、フェーズなどに応じてカスタマイズしてプロセスをデザインします。

企業、行政機関、教育・研究機関、生活者との共創により サステナブルな社会の構想・実装に取り組んでいます

企業との共創

- 長期未来シナリオの構築と新規モビリティサービスの共創（自動車メーカー）
- 循環型事業への転換の伴走・新規事業開発、オウンドメディアを起点にしたコミュニケーション支援（陶磁器メーカー）
- サーキュラーシフトに向けたコミュニケーション設計、メディアコンテンツ制作、ホワイトペーパー制作（素材メーカー）
- サステナビリティ研修プログラムと社員主導プロジェクトの伴走（不動産デベロッパー）
- 社内外ステークホルダーが集う共創ラウンジの設計・運営（化学メーカー）

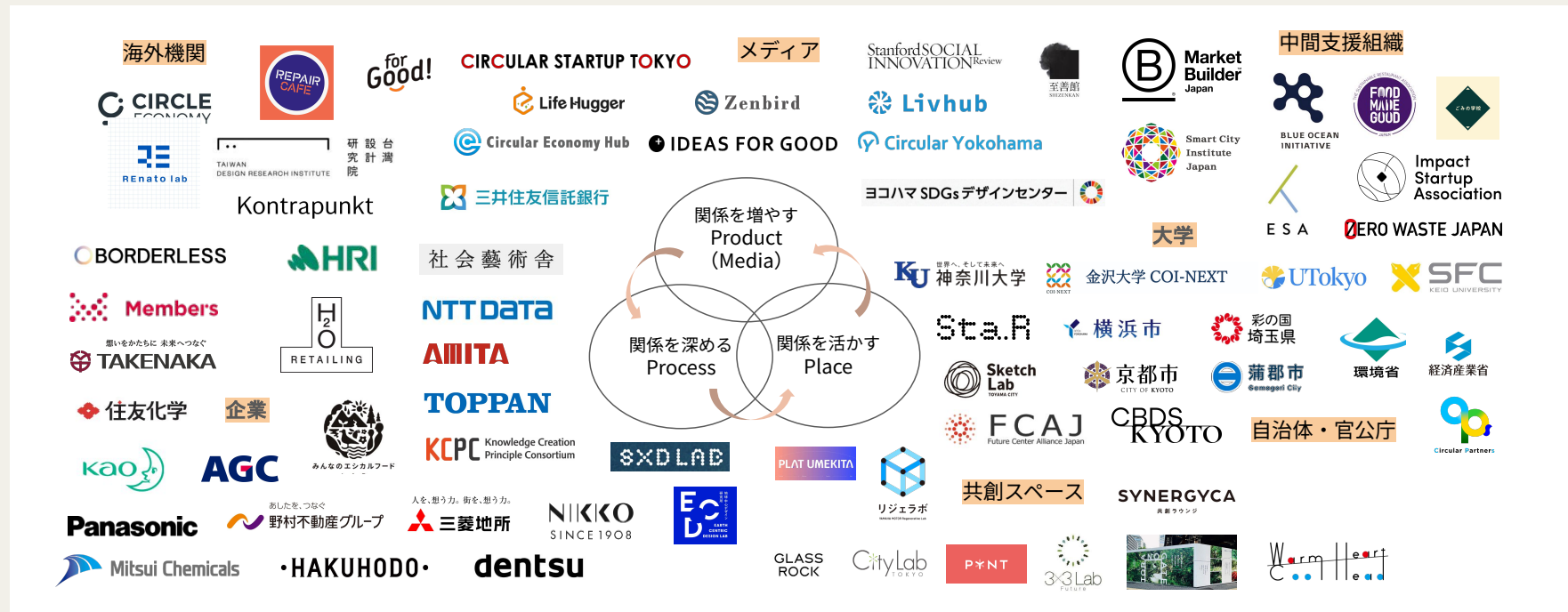
地域との共創

- 市民協働ファシリテーター育成制度の構築やファシリテーター講座の設計・運営（京都市、小松市など）
- サーキュラーエコノミー特化型ビジネス創造スクールの企画・運営（東京都、京都市など）
- サーキュラーシティへの移行に向けたガイド・ツールの共同開発（慶應義塾大学、三井住友信託銀行）

詳しい提供ソリューションや実績については旧各社のウェブサイトをご覧ください。

ハーチ株式会社：<https://harch.jp/> / 株式会社フューチャーセッションズ：<https://www.futuresessions.com/>

国内外の多様なパートナーとともに、ほしい未来を編み直す



Company / 会社情報

ふたつの源流から、Artiqlへ

Artiqlは、ふたつの源流から生まれました。

Harch (2015年創業)

サステナビリティ・サーキュラーエコノミーの専門メディアと、企業・自治体の移行支援を通じて、世界中のソーシャルグッドな実践を社会に届けてきました。



Future Sessions (2012年創業)

複雑な問題への認識を対話で大転換させ、ワクワクする未来を共創する。
セクターを横断する共創プロセスデザイナーとして、企業・自治体・NPOの
新規事業創出と組織変革を支援してきました。

artiql

会社名	アーティクル株式会社 (Artiql Inc.)
設立年月日	2015年12月 ※2026年6月、ハーチ株式会社より商号変更
資本金	2,000万円
代表取締役	加藤 佑、有福 英幸、寛 大日朗
取締役	天野 貴博、永野 祐子、原 裕
事業内容	Webメディア事業、サステナビリティ・サーキュラーエコノミー支援事業 フューチャーセッションの企画・運営 新規事業、新商品開発などのイノベーション・ファシリテーション 社会的マーケティング／ブランディングのコンサルティング
所在地	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-7-18 元赤坂イースト3階 302号室
URL	https://artiql.jp
認証・加盟	B Corporation® (B Corp認証)、SBT (1.5°C)、再エネ100宣言RE Action



代表者紹介



加藤 佑

Yu Kato

代表取締役

2015年にHarchを創業。「IDEAS FOR GOOD」「Circular Economy Hub」など、サステナビリティ・サーキュラーエコノミー領域の複数メディアを展開。企業・自治体のCE移行支援に従事し、自治体・大学のアドバイザーを兼任。英国ケンブリッジ大学サステナビリティ・リーダーシップ研究所修了、東京大学教育学部卒。



有福 英幸

Hideyuki Arifuku

代表取締役

大手広告会社で企業ブランディング・デジタルコミュニケーションに従事し、Cannes、One Show等の国内外広告賞を多数受賞。サステナブルな社会を目指すwebマガジン「ジアスニュース」編集長を経て、2012年にFuture Sessions共同創業。関心領域は、環境・エネルギー・食。



笥 大日朗

Dainichiro Kakei

代表取締役

富士ゼロックスでのソフトウェア開発を経て、KDI (Knowledge Dynamics Initiative) で知識経営リサーチ・コンサルタントとして、ワークプレイスデザインや未来シナリオを基点とした事業革新を支援。2012年にFuture Sessionsへ参画。組織の慣行軌道・意思決定・行動変容を解く方法論とプログラム開発をリード。

お問い合わせ

ご相談・お問い合わせは、以下までお願いいたします。

● Web

<https://artiql.jp>

※現在、Artiqlの公式ウェブサイトを準備しています。事業内容やプロジェクト、最新情報などを順次公開してまいります。

※ハーチ・フューチャーセッションズの各ウェブサイトは引き続きご覧いただけます。

ハーチ：<https://harch.jp/> / フューチャーセッションズ：<https://www.futuresessions.com/>

● Email

main-webform@contact.artiql.jp

※ご返信に最大3営業日程度かかりますこと、あらかじめご了承ください。

※大変多くのお問い合わせをいただいております。内容によってはご返信できない場合がございます。

● Mail

〒107-0051

東京都港区元赤坂1-7-18 元赤坂イースト3階 302号室

※土日祝、年末年始などの長期休業期間はお休みさせていただいております。

artiq